

令和3年12月

令和5年度関西総本部棋士採用実施細則

1.棋士採用

令和4年1月～11月まで院生リーグを行い、総合得点上位一名を棋士採用とする。

※令和五年度の関西総本部棋士採用は院生からのみとし、外来からの採用はありません。

2.順位決めリーグ

令和3年12月の院生リーグの結果で、1月の開始順位を決める。

3.対局方式

院生全員参加の総当たりリーグで行う。

先後を入れ替え1名に付き2回対局する。

(院生の人数の変動によって変更される場合があります)

4.持ち時間

各45分 5分前から60秒の秒読み 1日2局打ちとする。

(進行状況などにより、持ち時間や形式を変更する場合があります)

5.遅刻

遅刻時間の3倍を持ち時間より引く。

罰則が持ち時間を超える場合は60秒の秒読みとする。

遅刻が1時間を超えた場合は不戦敗とする。

6.手合割

総互先 先番6目半コミ出し

7.得点

『勝ち星1勝につき1点+リーグ順位点』の合計点がリーグ毎の得点となる。

勝ち星が同数の場合は、リーグ開始の順位が上のものを上位とする。

順位点はリーグ8人の場合、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。

(例:10勝4敗で2位の場合、勝ち星10点+2位7点=17点がそのリーグの得点)

8.院生リーグ

院生リーグの回数は、令和4年11月末までに行えるリーグまでとする。

なお、10月以降開始のリーグは得点を倍とする。

9.その他

総合得点が同点の場合は最終リーグの成績上位者を採用とする。

無勝負は当日か予備日などで打ち直し(打ち直し局は持ち時間が少なくなる場合があります。)

台風、大雪や、感染症などで棋院が使えない場合など、日程を変更する場合があります。